

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都福生市本町 5 番地
氏 名 福生市長 加 藤 育 男

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第 5 章 1 （１）①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			武蔵野台クラブ									
2	学童クラブの所在地			郵便番号	197-0013			住所	東京都福生市武蔵野台 1 丁目12番地 2 号（武蔵野台児童館内）				
3	設置・運営形態			公 設 民 営									
4	設置主体	名称		福生市									
		住所		郵便番号	197-8501			住所	東京都福生市本町 5 番地				
		代表者		福生市長 加藤 育男									
5	運営主体	名称		労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団									
		住所		郵便番号	170-0013			住所	東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 I S P タマビル				
		代表者		代表理事 平本 哲男									
6	学童クラブ事業開始年月			平成	8		年	9		月			
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	7		年	4		月			
8	支援単位（※1）との状況	支援単位 1	専用区画面積	（部屋名）	82.72 m ²			（児童数で按分したときの 1 名あたりの面積）			3.18 m ²		
			児童数	26 名									
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2 名		放課後児童支援員（非常勤）			2 名	
				補助員（常勤）			0 名		補助員（非常勤）			0 名	
9	開所時間	平日	放課後から		20:00		まで						
		土曜日・長期休業期間	7:30	から	20:00		まで						
10	国庫補助の有無			有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有									
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	39 (39日)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)					
		有	冬季休業期間	13 (13日)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)					
		有	春季休業期間	12 (12日)	日間提供 (春季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)					
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式 2 のとおり）										
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式 2 のとおり）										
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有		令和	12	年度	受審予定				
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）												
17	利用料	月額		4000		円							
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)											

※ 1 支援単位が 2 つ以上となる場合は、第 1 号様式乙に記載ください。

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容		
児童達が中心となり学童の活動を通して考えていることや感じていることを話し合う「こども会議」という場を設けている。 児童一人ひとりに「こども面談」を実施し、学童生活に対する声を聞きコミュニケーションを図っている。		

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎	日	ドッジボール、鬼ごっこ、一輪車、ロクムシ、バスケット、卓球、サッカー、バレーなど
「製作活動等」	毎	日	ブラバン、ペットボトル工作、段ボール工作、アイロンビーズ、陶芸、紙粘土工作など
「地域の文化等に触れる体験」	12	回	健康教室・・・市保健センターによる健康教室 七夕民謡パレード・・・市主催の祭事で学童クラブとして出場 公民館事業への参加・・・土曜日育成の子どもと参加市民文化祭に手作り物品を出品 近隣のふっさっ子の広場（放課後子供教室）との交流 など
「自主学習」	毎	日	学習時間は登所後10分から30分程度設けている
「児童の意見を反映させた行事」	12	回	子ども達の希望の玩具や漫画などを導入 子ども自身がおやつをお店で選ぶ 学童クラブ内イベントの景品をクラブ内の子ども実行委員が選定 など

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----